



天気が悪いと外で遊ぶことができず、どうしても校舎内が騒がしくなります。昼休み時間、廊下で「走らないで!」と中止する声がありました。行って見ると低学年の子を3年生の女の子が注意しているのです。

やればできる!

テストと家庭学習の連動

～自分で「学習の計画」を立てて取り組む～

家庭学習週間が終わりました。中高学年を中心に、家庭週間に入る前には、「かがやきタイム」の時間を使って一週間の家庭学習の計画を立てて取り組んでみました。学級では、「一週間後、こんなまとめのテストをします。自分はどんな勉強をするか考えてみましょう。」とテスト問題の予告を行いました。家庭学習に取り組む前に試しにテストを解いてみて、「勉強しなくては」とか「勉強すれば解けるようになるかも」と考えた子ども達は、それぞれの計画で学習に取り組みました。

3年生は85点を合格点にしたそうです。家庭学習の取り組み後のテストでは、1回目で21人が合格その後も再挑戦の結果合格者が続いています。

4年生は、1回目のテストで11人もの満点が出ました。

5年生は、1回目で30人が合格しました。メディアのめあてを守る子が増えました。

6年生は、90点を合格ラインとしていますが、1回目に89点で惜しくも合格を逃した子が2回目ですぐに合格。なのに、さらに満点を狙って再挑戦しているそうです。

自分にあった学習、自分に必要な学習

子どもによって必要な漢字の練習の回数も違います。1日で練習する範囲も違います。先生にお願いしてテスト用紙を1枚もらって帰っておうちでやってみた子もいるそうです。

テストの点数が全てではありませんが、こうして「やればできる」ということを知ること、『自分ごとに必要な勉強』を考えて行うということは大切だと思います。6年生が行う「全国学力・学習状況調査」や5年生が行っている「岩手県学習定着度状況調査」の質問紙(アンケート)問題に「家で自分で計画して勉強していますか」とか「自分の弱点を克服する家庭学習に取り組んでいますか」という問いがあります。それだけ、自分にあった学習が求められているということだと思います。

2年生も25問テストに取り組んでみんながんばったようです。1年生も、学期末のまとめの勉強に取り組もうとしています。勉強する雰囲気を広めていきたいです。

初めての懇談会

2月にして今年度はじめての懇談会が行われました。コロナが心配でPTA総会も懇談会のできないままでおりました。もうすぐ今年度が終わるという時期まで来ましたが、先生方から「1年の様子をお伝えしたい」とか「同じ学年のおうちの方々が顔を合わせる機会を持った方がよいのではないか」という声があがり開かれたものです。

参観日・懇談会と分けて行った上に、懇談会は夜の時間帯に設定というご無理をお願いしました。それに関わらず集まってくださったたくさんの方々に感謝も申し上げますし、また、ご都合をつけられなかった方にも強行日程で申し分けなくお詫びも申し上げます。コロナの関係で次回もどのような形で行うことができるかはっきりしないところがありますが、今後ともご協力をお願いいたします。

また、懇談会に先だつての理事会、そして理事会に向けての役員会もありがとうございました。

「まなびの教室」では

「自分にあった学び方」、「気持ちのコントロール、コミュニケーションのコツ」、「体の動かし方、道具の使い方」などの相談や指導を行っています。

・忘れ物が多い
・片付けられない

・友達をつくるのが苦手

・計算は得意だけど黒板の字を書き写すのに抵抗がある。

いろいろな苦手

・イライラする気持ちを抑えられない

・耳で聞いたことは覚えるのはやいけど漢字が覚えられない

・細かい作業が苦手
・ぎこちない動きをすることがある

子どもは、得意・不得意はもちろんのこと、見え方や聞こえ方などの感覚、体の使い方なども一人一人違うことがあります。「さぼっている」のでもなく、「やる気がない」のとも違い、やり方が分からないだけだったり、練習が他の子より少し多く必要なだけだったりする子もいます。手助けをしてあげることで自分でできるようになっていく子もいます。「まなびの教室」ではそのような子の助けとなるように、相談にのったり学び方を試しながら勉強したりしています。

まなびの教室をのぞいてみました。

先日、「まなびの教室」をのぞいてみました。教室では「お話タイム」として担当の向折戸先生とお話をしていました。昼休みに友達と遊んだことなどを話していました。子ども達の中には、普段自信がなかったり遠慮しがちだったりしてお話する機会が少ない子もいます。じっくりとお話することでリラックスしたり先生との関係も深めたりしていきます。コミュニケーションの練習にもなりますから、先生はじっくりと聞いてあげていました。

次に、音読をしたり、しりとりをしながら言葉を増やす勉強をしたり、マスの大きいノートに先生が選んだ漢字の練習をしたり、目の動きがまだぎこちないことがある場合は目の動きのトレーニングをしたりします。こうして、その子に必要な勉強を個別で行っています。

第15回洋野町教育振興大会 表彰

今年度の洋野町教育振興大会は中止となりました。そんななか、先日、教育振興会会長の山田幸朗先生がわざわざ学校においでになり子ども達に賞状を授与してくださいました。「大会は中止になっても子ども達の励ましに」と各学校をまわってくださっているのだそうです。町の方々のお気持ちが大変ありがたいです。

<奨励賞・個人>

2年 續石香玲さん 第22回 JAMSTEC 海洋の夢コンテスト アイディア部門 佳作

4年 澤村透吾さん 第73回岩手芸術祭小・中学校美術展 美術部門 奨励賞

4年 荒沢未来さん 第37回岩手県海の子絵画展 小学校の部 優秀賞（岩手県漁業共済組合長賞）

<奨励賞・団体>

種市小学校 第37回海の子絵画展 学校賞

<善行賞>

種市小学校 海上保安協力校として海浜清掃の活動により第二管区海上保安部から表彰されたこと
=そのほかに、本校の子ども達がお世話になっているスポーツ少年団も表彰されました=

<スポーツ振興賞>

平内ベアーズスポーツ少年団 第38回岩手日報杯三陸海岸学童軟式野球大会兼第26回マクドナルド・カップ岩手県学童軟式野球大会 第2位

洋野ベースボールクラブ 高円宮杯第40回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント岩手県大会 第1位